

笑顔を引き出す レクリエーションの工夫。

～季節行事、企画の充実～

特別養護老人ホーム 小坂の郷
介護福祉士 池田 大地
介護福祉士 金藤 優亮

1

小坂の郷の年間行事について

・入居者様の満足度を高めるために表のような施設全体で行う年間行事とユニットで企画・実施しているレクリエーション活動の二種類があります。

その中からユニットで行っている企画に注目して、コロナ禍からコロナウイルス感染症が第五類感染症になってからのレクリエーションの変化とその取り組みについてお話しさせていただきます。

	行事
5月	五月人形飾り 母の日
6月	小坂祇園祭り 子供神輿 父の日
7月	七夕飾り
8月	夏企画
9月	敬老会
10月	秋祭り
11月	文化祭
12月	クリスマス会 門松作り
1月	年始挨拶回り
2月	節分 雛飾り
3月	冬企画

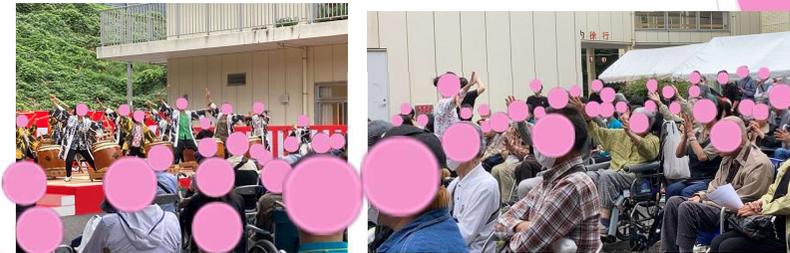
2

小坂祇園祭（子ども神輿）



3

小坂の郷秋祭り



4

クリスマス会



5

▶ユニット、フロアーレクリエーション

6

五類になってからのレクリエーション



・職員が企画して
合唱企画を行った。

・1つのユニットの
入居者様が対象で10人
中6人参加されるが2人
途中で帰られてしまっ
た。

7

レクリエーションの様子



8

レクリエーション後の改善点

- ・楽しんで、もらいたい気持ちはあるが職員が主体のレクリエーションになっていた。
- ・職員が不慣れで段取りが上手くいかなかった。
- ・1ユニットのみで行った為、人数も少なく盛り上がりにかけてしまった。

9

反省点を活かし始めたレクリエーション

職員主体（やってあげたい）→入居者に希望を聞く→入居者主体（やりたい）の企画を考えた

ユニットレクリエーション

- ・みんなで作ろう、ラーメンと餃子の会
入居者同士の会話で食べたいって話をしていた。
- ・焼き芋ほくほく、焼き芋タイム
TVを観ていたら焼き芋を焼いていて昔は良く落ち葉を集めて焼いて食べてたんですよと職員に話しをしてくれていた。
- ・動かず楽しむバーチャル旅行
たまには温泉にでも行きたいね、私は趣味でよく友達と旅行に行ったのよと入居者同士で盛り上がり話をしていた。

10

ラーメン・餃子レクリエーション



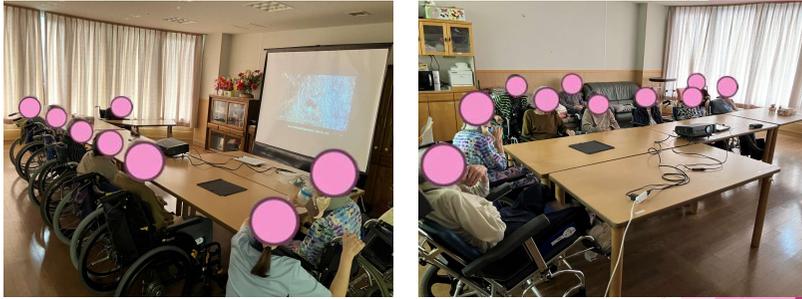
11

焼き芋レクリエーション



12

バーチャルレクリエーション



13

レクリエーション後の良かった点

- ・入居者主体のレクリエーションを行い笑顔が増えた。
- ・フロアの垣根を越えた関わりが持てた。
- ・職員と入居者との会話のきっかけになった。
- ・入居者の好みを知れた。
- ・コミュニケーションが取れない入居者には、ご家族に聞きご家族と話す機会が増えた。

14

今後の課題

- ▶ 入居者一人ひとりの声を聞き個人のニーズに沿った企画を意識して行っていく。
- ▶ 外出レクリエーションを開催する。
- ▶ 家族とも連携を取り、ユニットレクリエーションに参加を頂き信頼関係を築く。
- ▶ 職員も一緒に楽しむ気持ちをシェアしてモチベーション向上につなげる。
- ▶ YouTubeやSNS等でレクリエーションについてヒントを得て利用者、職員も楽しめるレクリエーションを行っていきたい。

15